

CLIP 1 宮崎市の財政状況をお知らせします

市では毎年、皆さんが納めた税金などがどのように使われているのかを公表しています。今回は、平成26年度の決算の概要や、現在の財政状況をお知らせします。

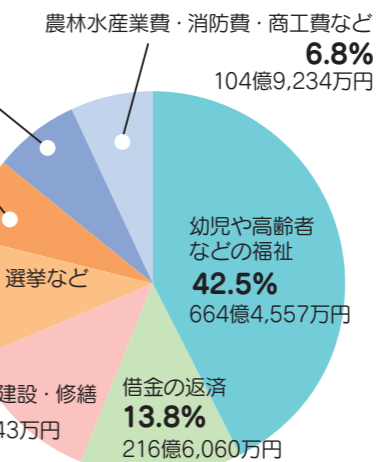
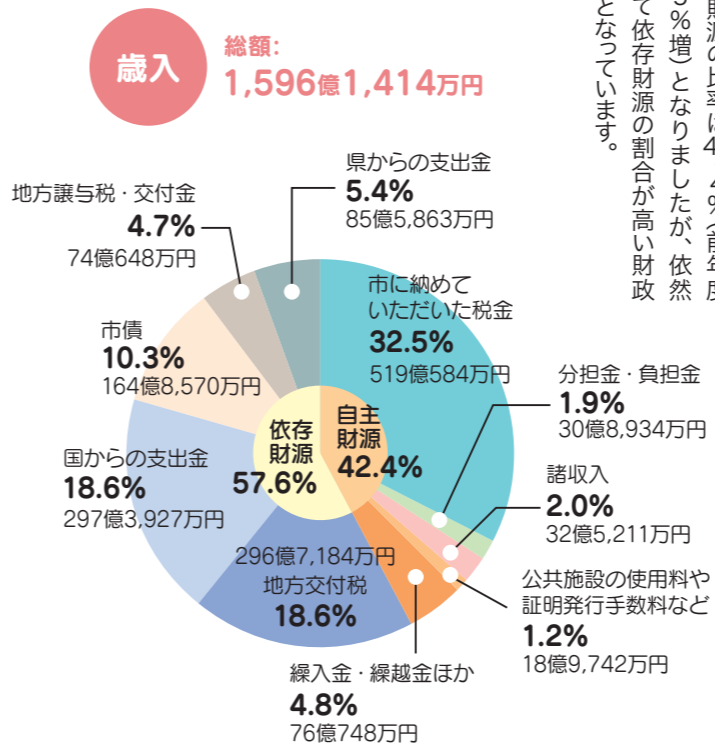
「問」 財政課 ☎21-1723、FAX21-1522

福祉サービスのための経費増などにより、決算規模は拡大

平成26年度は、前年度に比べ歳入は約58億4953万円の増、歳出は約57億5397万円の増となりました。

具体的には、歳入では市税や基金繰入金などの自主財源が約48億2201万円の増、国や県からの交付金や市債などの依存財源が約10億2752万円の増となりました。自主財源の比率は42.4%（前年度1.5%増）となりましたが、依然として依存財源の割合が高い財政構造となっています。

■一般会計



皆さんの税金を大切にに使わせていただきました



■特別会計

会計名	歳入決算額	歳出決算額
公営住宅建設資金	17億7,906万円	16億9,847万円
国民健康保険	462億4,459万円	464億3,545万円
後期高齢者医療	41億9,866万円	41億8,408万円
公園墓地	2億7,393万円	2億7,393万円
卸売市場	6億8,192万円	6億8,192万円
用地取得	2,533万円	2,533万円
母子寡婦福祉資金	1億1,439万円	1,518万円
介護保険	302億7,054万円	296億6,144万円
公設合併処理浄化槽事業	2億1,825万円	2億1,567万円
宅地造成事業	4億2,281万円	4億 833万円
公債管理	247億2,086万円	247億2,086万円
合計	1,089億5,039万円	1,083億2,070万円

※端数処理により、数値に整合しない部分があります。

■企業会計

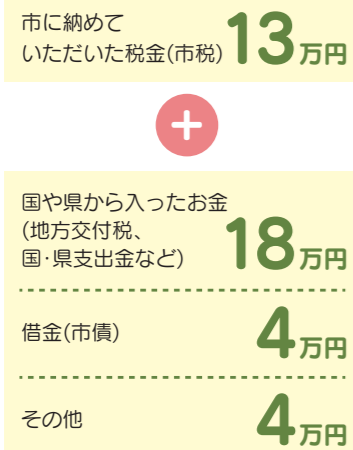
会計名	歳入決算額	歳出決算額
水道事業	126億1,841万円	118億3,328万円
簡易水道事業	8億4,851万円	8億 234万円
工業用水道事業	2,483万円	2,415万円
公共下水道事業	220億1,807万円	217億6,915万円
農業集落排水事業	11億9,345万円	11億6,173万円
田野病院事業	9億1,811万円	12億1,475万円
合計	376億2,141万円	368億 543万円

特別会計 国民健康保険や介護保険など、特定収入(保険料など)を財源とする会計

企業会計 上下水道や病院など、民間企業のように事業の収入で費用を賄う会計

平成26年度決算(一般会計)を市民1人に換算すると...

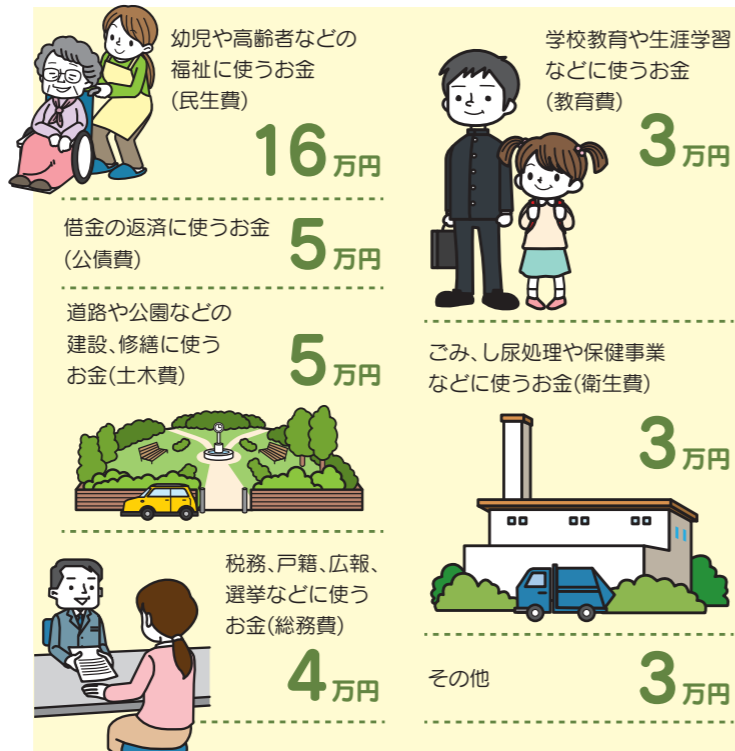
市民1人当たりの収入



市民1人当たり

39万円

市民1人当たりの支出



Q 市はなぜ借金をするのですか?

A 主に道路の整備や公民館などの新しい施設を整備するために、借金をしています。これらの施設は将来にわたって利用するため、将来世代にも公平に費用を負担してもらう「世代間調整」のために借金をしています。一方で、全国的に老朽化した公共施設、インフラの更新問題が起こっていますので、今後は、必要な施設を選択した上で、更新、改修することとしています。

Q 借金の返済は大丈夫ですか?

A 借金の返済は歳出の大きな割合を占めていますが、市債残高の圧縮を図っていますので今後は緩やかに減少していきます。

Q 歳入の伸びが望めないのに必要なサービスが提供できますか?

A 福祉サービスなどが年々増加しているため、歳入が伸びない状況では歳

よくある質問

引き続き健全な財政運営に努めます!

財政課 主任主事 緒方 俊介

■宮崎市中期財政計画(平成27年度~平成29年度)

市では、真に必要な市民サービスを提供する上で、必要不可欠な健全財政を実現するために中期財政計画を策定しています。平成27年度から平成29年度までを計画期間とした中期財政計画では、3つの目標を定め、将来に責任ある、自立した財政運営を目指します。

財政目標	平成27年度計画値(億円)	平成27年度見込額(億円)
【目標①】市債残高 120 億円以上の圧縮	42	45 達成
【目標②】財政5基金残高 200 億円以上の確保	257	283 達成
【目標③】歳入歳出改革による一般財源の確保・削減(13億円)	1	1 達成